



# 道徳通信

No. 2

平成27年6月29日発行  
道徳教育推進委員会

## 旭農業高等学校の授業公開

平成27年6月25日(木)に、県立旭農業高等学校で実施された公開授業を参観してきましたので、内容について報告いたします。

道徳教育推進校は、読み物教材や映像教材を活用した道徳の授業の在り方に加えて、近隣の小・中学校との連携を深め、高等学校の道徳教育の在り方について広く研究することを目的としています。

旭農業高等学校は、自他の生命や個性を尊重し、他を思いやる態度の養成を目標の一つに掲げています。東総地区の高等学校だけでなく近隣の中学校の先生方も数多く参観に訪れていました。

授業内容は以下のとおりです。

### 1年A組(畜産科)

#### 「3.11を乗り越えて」(「明日への扉Ⅰ」)



生徒の身近で発生した「3.11」の経験から、「命の尊さ」、「人と人との絆の強さ」に焦点を当てて、活発な意見交

換を引き出す工夫が見られました。

### 1年B組(生産技術科)

#### 「家業を継ぐということ」(「明日への扉Ⅰ」)

生徒自身の進路選択の一助となる題材を取り上げて、生徒自身の気付きや互いの悩みを共有させようという姿勢が見られました。



教員の思いを表に出さず、生徒に考えをまとめさせ意見を述べさせることの難しさを実感しました。

### 1年C組(食品流通科)

#### 「涼風」(「明日への扉Ⅱ」)



授業を通じ、生徒に主人公の心の動きを追体験させようということを意図した授業でした。

心の動きを読み取らせ、それを表現すると作業には、ペアやグループでの活動による生徒の気付きも大きな要素であると感じました。

### 1年D組(生活科学科)

#### 「おもい先生の記憶」(「明日への扉Ⅰ」)



グループワークの使い方は状況を見て行う必要があると痛感しました。

落ち着いた環境の中でじっくりと考えさせること、生徒の気付きを引き出す工夫を積み重ねていくこと。

これらが道徳の授業では不可欠の要素です。

7月以降、1年生は、LHRを活用した道徳の授業が展開される予定です。

今回の指導案等は後日サーバーにアップロードしますのでこれらも活用しながら内容について御検討ください。

(文責 崎山)